

2019年度区議会委員会構成が決定 議長・監査などたらい回し改善を求める

区議会常任委員会・議会運営委員会

	総務企画	文教子育て	福祉区民	建設環境	議会運営
日本共産党	北村 綾子 小林 行男	相馬 優子 横山 幸次	斉藤 邦子	小島 和男	小林 行男 横山 幸次
自由民主党	中島 義夫 小坂 眞三 並木 一元	鎌田 理光 町田 高 北城 貞治	明戸 真弓美 茂木 弘 斉藤 泰紀	菅谷 元昭 志村 博司	菅谷 元昭 斉藤 泰紀 北城 貞治 志村 博司
公明党	菊池 秀信	松田 智子	山口 幸一郎 保坂 正仁	増田 峰子 森本 達夫	松田 智子 保坂 正仁
維新・あたらしい党	夏目 亜季	山田 晴美	宮本 舜馬		宮本 舜馬 山田 晴美
民主ゆいの会		清水 啓史		竹内 明浩	
日本創新党	小坂 英二	小坂 英二			
自由民主の会				藤澤 志光	
あらかわ元気クラブ			河内 ひとみ		
立憲民主党				久家 繁	

区議会特別委員会

	震災災害	健康危機	観光文化	援助団体
日本共産党	相馬 優子 小島 和男	北村 綾子 斉藤 邦子	横山 幸次	小林 行男
自由民主党	町田 高 小坂 眞三 並木 一元	鎌田 理光 斉藤 泰紀 北城 貞治	明戸 真弓美 志村 博司	中島 義夫 菅谷 元昭 茂木 弘
公明党	保坂 正仁	菊池 秀信	山口 幸一郎 森本 達夫	増田 峰子 松田 智子
維新・あたらしい党		夏目 亜季	宮本 舜馬	山田 晴美
民主ゆいの会	竹内 明浩		清水 啓史	
日本創新党	小坂 英二			
自由民主の会		藤澤 志光		
あらかわ元気クラブ			河内 ひとみ	
立憲民主党				久家 繁

委員長 副委員長 理事

ここ5年間の議長、監査委員、副議長

議長 (自民党)	就任 年月	退任 年月	監査委員 (自民党)	就任 年月	退任 年月	副議長 (公明党)	就任 年月	退任 年月
北城 貞治	2014・5	2015・4	茂木 弘	2014・5	2015・5	萩野 勝	2014・5	2015・4
斎藤 泰紀	2015・5	2016・5	守屋 誠	2015・5	2016・5	保坂 正仁	2015・5	2016・5
並木 一元	2016・5	2017・5	志村 博司	2016・5	2017・5	中村 尚郎	2016・5	2018・5
鳥飼 秀夫	2017・5	2018・5	北城 貞治	2017・5	2018・5			
若林 清子	2018・5	2019・4	斎藤 泰紀	2018・5	2019・5	吉田 詠子	2018・5	2019・4
茂木 弘	2019・5		並木 一元	2019・5	予定	菊池 秀信	2019・5	

5月27日に開かれた2019年度荒川区議会開会会議で、会期を来年の4月30日までの340日とすることが決まりました。また、議長選や各委員会の体制も決まりました。

横山幸次は、文教子育て支援委員会副委員長、観光文化調査特別委員長理事、議会運営委員会理事となりました。

また、委員会の委員長ポストについては、自民党が11議席に

後退したため、日本共産党荒川区議団がはじめて総務企画委員会の委員長になりました。

新たな体制にもと、選挙中に訴えた公約実現に向けて力を尽くします。

会派人数に沿った民主的ルールで議会人事を
今回、議会前の全員協議会で共産党区議団を代表して議長は第一会派から全会派が一致できる適切な人選、さらに毎年の

辞職によるたらい回しは止めること 副議長、議会選出監査委員は会派人数に応じた公正なルールの必要性を訴えました。

結果は、共産党を排除するやり方で自民と公明による独占となりました。監査委員も自民党が、毎年辞職を繰り返す順送りでは区民の理解は得られません。

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

733

2019年6月 2日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

裏面 図書返却ポスト、
ふるさと納税...など

お気軽にご相談ください
定例法律相談会

7月1日(月)
横山事務所18時~20時

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627



先日、九中の4階窓枠が落下する事故がありました。豪雨だった日のことらしいのですが、開いていた窓を閉めたときに、窓枠が外れて校庭側に落下したようです。後日学校の写真を撮りましたが、確かに4階部分の窓に木の板のようなものが付けられている様子が分かります(左写真)。

この学校は、1961年に建てられ築58年です。いわゆるナンバースクールで建て替えられてない中学校は、一中、四中、五中、七中、九中の5校です。もちろん小学校も同様です。今



回は、雨で校庭に人がいなかったので、人があってもいいかもしれません。築年数の古い学校は、雨漏りなども報告されています。学校施設の安全対策、教育環境で学校間に大きな格差をつくらないような区の対策が急がれます。(横山幸次)

学校の4階の窓枠が落下...けがはありませんでしたが、築年数の古い学校の安全点検と改修を急いで...



図書館を 考える

図書館の図書返却ポスト 日暮里駅前に設置 (タクシー乗り場付近)

上は、設置想定図、下はポスト



収容冊数：A5判で250冊程度
材質：ステンレス製
(購入費及び設置費746,000円)
耐震のため地面に固定する。
上部に空き缶等の放置を防止するために傾斜をつけた。
タバコ等の投げ入れから本を守るための受け皿構造(右)。



日暮里駅東口ロータリーのタクシー乗り場付近(左上図)に図書返却ポストが7月上旬に設置されることになりました。通勤通学や買い物物の途中などで、図書館で借りた本を気軽に返却できるようにします。図書館をより使いやすくするための方策です。ポストに入った本は1日1回、各図書館の間を運行している配本車が回収します。

暑い夏を迎える前に!

昨年の夏に実施した冷房機種の購入助成のフォローアップとして実施します。

自宅にエアコンのない世帯で

65歳以上の高齢者のみ世帯等を対象に
エアコン等を新規に購入した場合に

上限5万円まで助成します。

※ エアコンは、ルームエアコン・冷暖専用エアコン・窓用エアコンを指します

助成対象
期間

平成31年4月1日(月)から7月31日(水)まで
※上記期間に購入した冷房機器が助成の対象です。
申請は4月22日(月)から8月16日(金)まで受け付けます。

対象となる方

- ◆ 平成30年7月24日時点で荒川区に住民票があり、自宅にエアコン(ルームエアコン・冷暖専用エアコン・窓用エアコン)が設置されていない、次のいずれかの世帯
 - ① 65歳以上の高齢者のみ世帯
 - ② 身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳保持者もしくは要介護4以上の認定を受けている方がいる世帯
- ※平成30年度に助成を受けた世帯、同じ替えは対象外となります。

いたずらでタバコの吸い殻等を入れた際も、受け止める構造になっているようです。今後、利用状況など検証していくとしています。その結果も踏まえて町屋駅などの主要駅での設置も検討してほしいと思います。

「街なか図書館」の整備も課題です。また荒川区は、「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言を「行い」あらかわ街なか図書館の整備を打ち出しています。区の施設等に本棚や書架を設置し、誰もが、いつでも、身近に本に触れられる場にするというものです。現在 荒川区役所1階戸籍住民課待合席 生涯学習センター1階情報コーナー エコセンター2階エコカフェ内 子ども家庭支援センター子育て交流サロン内の4カ所です。この取り組みはよいと思います。問題は、設置場所の確保と図書の管理でしょう。民間の施設確保やボランティアみなさんの協力も考えられるのです。



今週のデータ F35戦闘機105機で1.4兆円の爆買い 子ども応援の基金は10億円…?

子供の未来のために
私たちがやるべきこと。

**子供の未来応援基金
約10億円**(4年間の総額)

**F-35戦闘機 105機
約1.4兆円**(1機約140億円)

安倍総理とトランプ大統領のゴルフ、大相撲観戦など連日流されました。一方、安倍総理は、F35戦闘機を105機も購入すると表明。総額1

行政監視委員会が共産党の宮本徹議員が「首相と桜を見る会」を追及！

税金・政治の私物化？

	予算額	実績(使った金)
2914年	1718万円	3005万円
2015年	1766万円	3841万円
2016年	1766万円	4639万円
2017年	1766万円	4725万円
2018年	1766万円	5229万円

が異常であり間違っています。4兆円とも言われる税金を、ご機嫌取りで献上する姿にしか見えません。一方、政府肝いりで始まった「子供の未来応援国民運動」に集まったお金はたったの10億円です。また、「首相と桜を見る会」も異常な公費乱用。税金の使い方が異常であり間違っています。

荒川区で「ふるさと納税」は…

「ふるさと納税」は2008年に創設され、2016年度から特例控除の上限(所得割額の10%)が所得割額の20%に引き上げられ、確定申告不要で寄附金控除が受けられるようになったことから、返戻品を目的とした寄附が増加したようです。

ちなみに荒川区の場合、2018年度は約8900人9億2千万、控除額が4億1千万円となっています。4億円余り税金が減ったことに

荒川区からの「ふるさと納税」額

	人数 (人)	寄付額 (千円)	控除額 (千円)
2014年度	305	20,621	7,363
2015年度	1,186	74,348	27,337
2016年度	3,642	360,745	159,733
2017年度	6,504	635,531	286,687
2018年度	8,986	920,960	414,094

なりませぬ。郷里への応援、被災支援など、積極的な意味もありますが、高額所得者に有利な仕組みであり、高価な「返礼品」など制度の趣旨から外れた事例も増えています。「返礼品」競争の過熱防止や富裕層優遇とならないような仕組みに見直すなどの改善が必要です。同時に、税金を自治体間で取り合う制度がいいのか、国の地方財政への責任は、など考えるのです。